


CASBEE®熊本《改修》【性能表示】 (改修後)

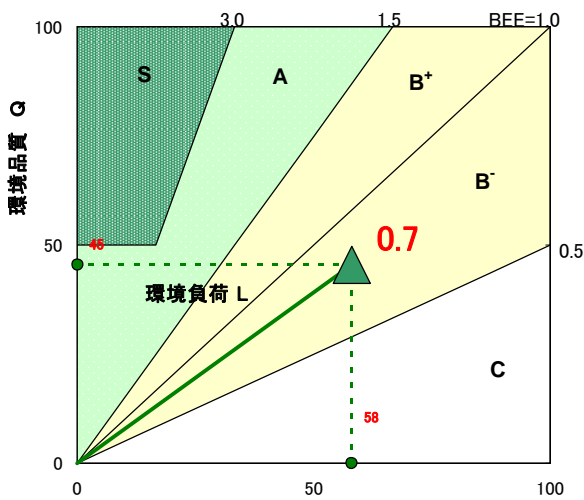
■ 建物概要				■ 外観	
建物名称	フードプラザにしだ 海士江店	階数	地上2F		
建設地	熊本県八代市	構造	S造		
用途地域	区域区分未設定都市計画区域、防	平均居住人員	30 人		
気候区分	地域区分V	年間使用時間	4,344 時間/年		
建物用途	物販店,	改修後の想定使用年数	10 年		
改修竣工年月	2011年2月 予定	改修工事期間	2011年2月1日～2011年2月27日		
新築時竣工年月	1999年10月	評価の実施日	2011年1月7日		
敷地面積	4,995 m ²	作成者	-		
建築面積	1,458 m ²	確認日	-		
延床面積	1,521 m ²	確認者	-		
改修目的	設備の省エネ仕様への転換による温室効果ガス排出の削減	現在までの主な改修履歴	なし	改修対象項目	躯体 - 外装 - 内装 - 設備 LED照明設備の導入

1 CASBEE評価結果

■ 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)



BEE = 0.7



$$\text{BEE(環境効率)} = \frac{Q(\text{環境品質})}{L(\text{環境負荷})}$$

■ CASBEE 評価基準

ランク	ランク表示	評価	判定値	
			BEE値	Q値
S	☆☆☆☆☆	素晴らしい	3.0以上	50以上
A	☆☆☆☆	大変良い	1.5以上3.0未満	-
B ⁺	☆☆☆	良い	1.0以上1.5未満	-
B ⁻	☆☆	やや劣る	0.5以上1.0未満	-
C	☆	劣る	0.5未満	-

2 熊本県重点評価結果

■ 重点事項総合評価



評価点

61

評価点

■ 熊本県重点評価基準

- 【重点事項1】 温室効果ガス排出量削減の推進
- 【重点事項2】 安全安心で暮らしやすい社会の実現
- 【重点事項3】 県の地域資源の有効活用と保全
- 【重点事項4】 循環型社会の実現

63.7
68.7
37.5
69

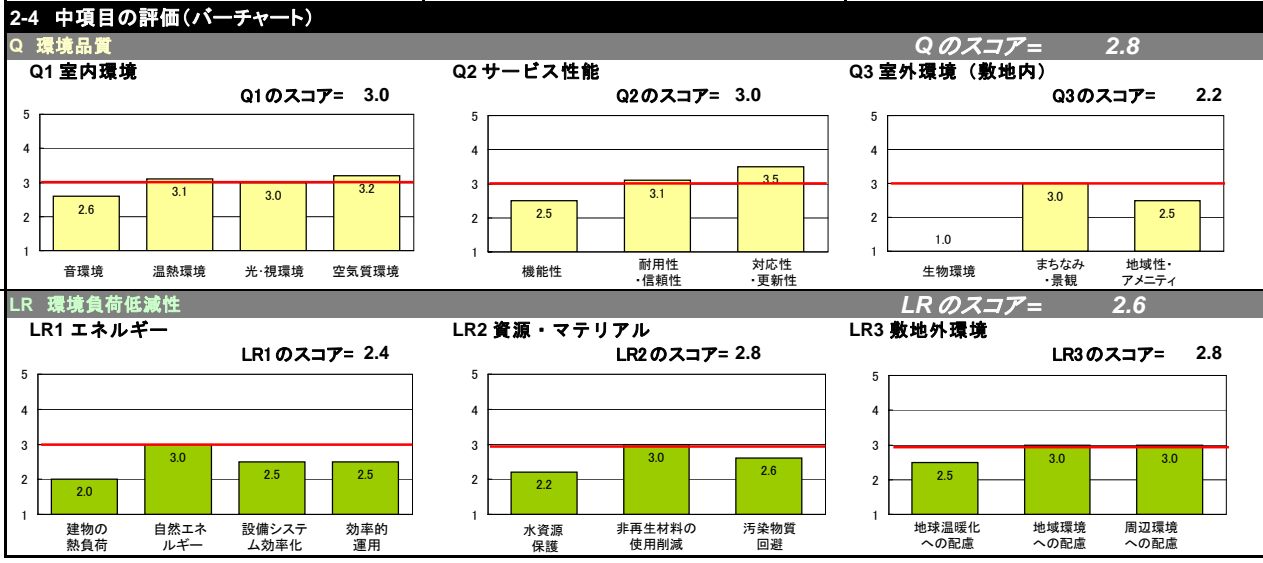
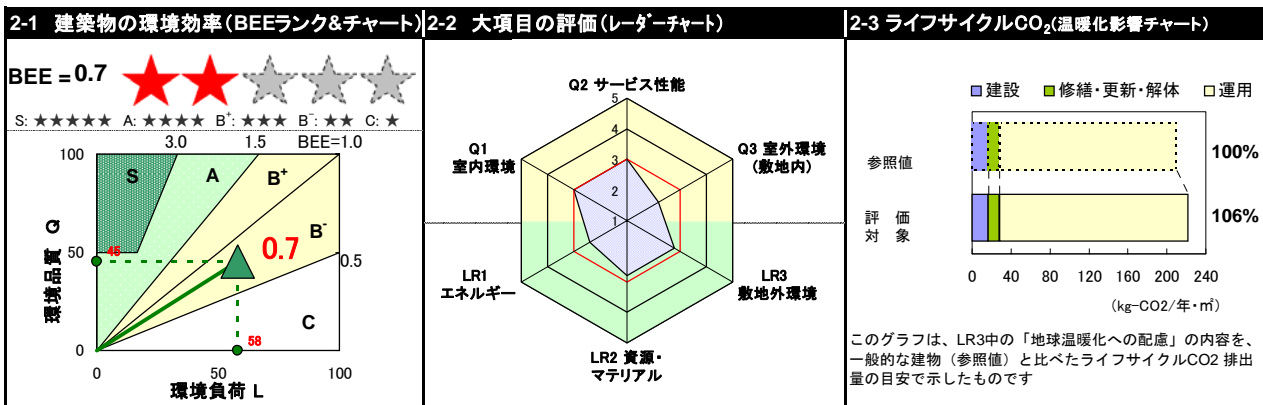
判定値(評価点)	ランク表示
100点以上	
80点以上100点未満	
60点以上80点未満	
40点以上60点未満	
40点未満	

※評価点は、100点以上が推奨です。

CASBEE[®] 熊本 《改修》 【評価結果】

■使用評価マニュアル: CASBEE-改修(簡易版) 2009年版 ■使用評価ソフト: CASBEE-RNb_2009(v.1.3)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	フードプラザにしだ 海士江店	階数	地上2F
建設地	熊本県八代市	構造	S造
用途地域	区域区分未定都市計画区域、防火	平均居住人員	30人
気候区分	地域区分V	年間使用時間	4,344時間/年
建物用途	物販店	改修後の想定使用年数	10年
改修竣工年月	2011年2月 予定	改修工事期間	2011年2月1日~2011年2月27日
新築時竣工年月	1999年10月	評価の実施日	2011年1月7日
敷地面積	4,995 m ²	作成者	-
建築面積	1,458 m ²	確認者	-
延床面積	1,521 m ²	確認者	-
改修目的	設備の省エネ仕様への転換による温室効果ガス排出の削減	現在までの主な改修履歴	なし
		改修対象項目	躯体 - 外装 - 内装 - 設備 LED照明設備の導入



■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
 ■LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい

CASBEE®熊本《改修》【配慮事項】

4 設計上の配慮事項
総合
<p>注) 改修における総合的なコンセプトを簡潔に記載してください。 (省エネ改修、室内環境改善、外装の更新、高耐久化、情報化対応、コンバージョンなど)</p> <p>■設備の省エネルギー仕様への転換による温室効果ガス排出の削減</p>
Q1 室内環境
<p>注) 改修における「Q1 室内環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。</p>
Q2 サービス性能
<p>注) 改修における「Q2 サービス性能」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。</p>
Q3 室外環境(敷地内)
<p>注) 改修における「Q3 室外環境(敷地内)」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。</p>
LR1 エネルギー
<p>注) 改修における「LR1 エネルギー」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。</p> <p>■設備の省エネルギー仕様への転換による温室効果ガス排出の削減。</p>
LR2 資源・マテリアル
<p>注) 改修における「LR2 資源・マテリアル」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。</p>
LR3 敷地外環境
<p>注) 改修における「LR3 敷地外環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。</p>
その他
<p>注) 上記の6つのカテゴリ以外に、改修工事における廃棄物削減・リサイクル、改修による歴史的建造物の延命など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。</p>

CASBEE-改修(簡易版)2009年版
フードプラザにしだ 海士江店

■使用評価マニュアル: CASBEE-改修(簡易版)2009年版
 ■評価ソフト: CASBEE-RNb_2009(v.1.3)

④スコア表示シート

配慮項目 []内: CASBEE-既存の項目名	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分				住居・宿泊部分				全体	
		改修前	改修後	重み係数		改修前	改修後	重み係数		改修前	改修後
Q 建築物の環境品質										2.8	2.8
Q1 室内環境				0.4	0.4					3.0	3.0
1 音環境		2.6	2.6	0.15	0.15	-	-	-	-	2.6	2.6
1.1 騒音		3.0	3.0	0.80	0.83	-	-	-	-		
1 暗騒音レベル		3.0	3.0	1.00	1.00	-	-	-	-		
2 設備騒音対策[等価騒音レベル]		-	-	-	-	-	-	-	-		
1.2 遮音		-	-	-	-	-	-	-	-		
1 開口部遮音性能		-	-	-	-	-	-	-	-		
2 界壁遮音性能		-	-	-	-	-	-	-	-		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-	-	-	-	-	-	-		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		-	-	-	-	-	-	-	-		
1.3 吸音		1.0	1.0	0.20	0.17	-	-	-	-		
2 温熱環境		3.1	3.1	0.35	0.35	-	-	-	-	3.1	3.1
2.1 室温制御		3.3	3.3	0.50	0.50	-	-	-	-		
1 室温設定[室温]		3.0	3.0	0.50	0.50	-	-	-	-		
3 外皮性能		3.0	3.0	0.17	0.17	-	-	-	-		
4 ゾーン別制御性	ゾーン別冷暖房切り替え可	4.0	4.0	0.33	0.33	-	-	-	-		
2.2 湿度制御		3.0	3.0	0.20	0.20	-	-	-	-		
2.3 空調方式		3.0	3.0	0.30	0.30	-	-	-	-		
1 上下温度差		-	-	-	-	-	-	-	-		
2 平均気流速度		3.0	3.0	1.00	1.00	-	-	-	-		
3 光・視環境		3.0	3.0	0.25	0.25	-	-	-	-	3.0	3.0
3.1 屋光利用		3.0	3.0	0.50	0.50	-	-	-	-		
1 屋光率		-	-	-	-	-	-	-	-		
2 方位別開口		-	-	-	-	-	-	-	-		
3 屋光利用設備		3.0	3.0	1.00	1.00	-	-	-	-		
3.2 グレア対策		-	-	-	-	-	-	-	-		
1 照明器具のグレア		-	-	-	-	-	-	-	-		
2 屋光制御		-	-	-	-	-	-	-	-		
3.3 照度		-	-	-	-	-	-	-	-		
1 照度		-	-	-	-	-	-	-	-		
2 照度均斉度		-	-	-	-	-	-	-	-		
3.4 照明制御		3.0	3.0	0.50	0.50	-	-	-	-		
4 空気質環境		3.2	3.2	0.25	0.25	-	-	-	-	3.2	3.2
4.1 発生源対策		3.3	3.3	0.50	0.52	-	-	-	-		
1 化学汚染物質		3.0	3.0	0.33	0.33	-	-	-	-		
2 アスベスト対策		3.0	3.0	0.33	0.33	-	-	-	-		
4 レンジオネラ対策	冷却塔がない	4.0	4.0	0.33	0.33	-	-	-	-		
4.2 換気		2.0	2.0	0.30	0.29	-	-	-	-		
1 換気量		3.0	3.0	0.50	0.50	-	-	-	-		
2 自然換気性能		-	-	-	-	-	-	-	-		
3 取り入れ外気への配慮		1.0	1.0	0.50	0.50	-	-	-	-		
4.3 運用管理		5.0	5.0	0.20	0.19	-	-	-	-		
1 CO ₂ の監視		-	-	-	-	-	-	-	-		
2 喫煙の制御	建物内禁煙	5.0	5.0	1.00	1.00	-	-	-	-		
Q2 サービス性能				0.3	0.3					3.0	3.0
1 機能性		2.5	2.5	0.40	0.40	-	-	-	-	2.5	2.5
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	3.0	0.57	0.57	-	-	-	-		
1 広さ・収納性		-	-	-	-	-	-	-	-		
2 高度情報通信設備対応		-	-	-	-	-	-	-	-		
3 バリアフリー計画		3.0	3.0	1.00	1.00	-	-	-	-		
1.2 心理性・快適性		2.0	2.0	0.43	0.43	-	-	-	-		
1 広さ感・景観		-	-	-	-	-	-	-	-		
2 リフレッシュスペース		1.0	1.0	0.50	0.50	-	-	-	-		
3 内装計画		3.0	3.0	0.50	0.50	-	-	-	-		
1.3 維持管理		-	-	-	-	-	-	-	-		
1 メンテナンスに配慮した建材と設計[総合的な取り組み]		-	-	-	-	-	-	-	-		
2 維持管理用機能の確保[清掃管理業務]		-	-	-	-	-	-	-	-		
3 衛生管理業務		-	-	-	-	-	-	-	-		
2 耐用性・信頼性		3.1	3.1	0.31	0.31	-	-	-	-	3.1	3.1
2.1 耐震・免震		3.0	3.0	0.25	0.25	-	-	-	-		
1 耐震性		3.0	3.0	0.80	0.80	-	-	-	-		
2 免震制振性能		3.0	3.0	0.20	0.20	-	-	-	-		
2.2 部品・部材の耐用年数		2.7	2.7	0.25	0.25	-	-	-	-		
1 躯体材料の耐用年数		3.0	3.0	0.25	0.25	-	-	-	-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	2.0	0.25	0.25	-	-	-	-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		-	-	-	-	-	-	-	-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	3.0	0.08	0.08	-	-	-	-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	3.0	0.17	0.17	-	-	-	-		
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	3.0	0.25	0.25	-	-	-	-		

熊本県重点評価結果スコアシート 実施設計段階

建物名称 **フードプラザにしだ 海士江店**

■評価ソフト: CASBEE-RNb_2009(v.1.3)_kmt2010(v1.0)

■使用評価マニュアル: CASBEE-熊本《改修》2010年版

★熊本県重点評価結果				総合評価点		60.5
重点事項				評価点	重点事項 重み係数	評価配点
重点項目(配慮項目)	スコア	重み 係数				
① 温室効果ガス排出量削減の推進				63.7	0.40	25.48
Q1-2.1.3	外皮性能	3.0	0.05			
Q1-3.1.3	昼光利用設備	3.0	0.05			
Q1-3.2.2	昼光制御	0.0	0.05			
LR1-1	建物の熱負荷抑制	2.0	0.15			
LR1-2	自然エネルギー利用	3.0	0.20			
LR1-3	設備システムの高効率化	2.5	0.30			
LR2-2.1	材料使用量の削減	2.0	0.10			
LR3-2.3.3	交通負荷抑制	4.0	0.10			
② 安全安心で暮らしやすい社会の実現				68.7	0.20	13.74
Q2-1.1.3	バリアフリー計画	3.0	0.35			
Q2-2.1.1	耐震性	3.0	0.35			
Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.10			
Q3-3	地域性・アメニティへの配慮	2.5	0.10			
LR3-2.2	温熱環境悪化の改善	3.0	0.10			
③ 県の地域資源の有効活用と保全				37.5	0.20	7.50
Q3-2	まちなみ・景観への配慮	3.0	0.20			
LR2-1.1	節水	1.0	0.30			
LR2-1.2.1	雨水利用システム導入	3.0	0.20			
LR2-2.5	持続可能な森林から産出された木材	0.0	0.30			
④ 循環型社会の実現				69.0	0.20	13.80
Q2-2.2	部品・部材の耐用年数	2.7	0.30			
Q2-3	対応性・更新性	3.5	0.30			
LR2-2.2	既存建築躯体等の継続使用	3.0	0.10			
LR2-2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	3.0	0.15			
LR2-2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	1.0	0.15			

■評価点算出式

評価点は、以下の方法により算出しています。

◆総合評価結果


総合評価点 = (各重点事項の評価点 × 各重点事項の重み係数)の総和
 ※重み係数の総和は、「1」であること。

◆各重点事項(①~④の項目)

評価点 = (各重点項目のスコア × 各重点項目の重み係数)の総和 × (5/4) × 20
 ※重み係数の総和は、「1」であること。


※(5/4) × 20 : スコア4点を評価点100点に変換するスケーリング定数

CASBEE®熊本《改修》【性能表示】 (改修前)

■ 建物概要				■ 外観	
建物名称	フードプラザにしだ 海士江店	階数	地上2F		
建設地	熊本県八代市	構造	S造		
用途地域	区域区分未設定都市計画区域、防	平均居住人員	30 人		
気候区分	地域区分V	年間使用時間	4,344 時間/年		
建物用途	物販店,	評価の実施日	2011年1月7日		
新築時竣工年月	1999年10月	作成者	-		
経過年数	11 年	確認日	-		
敷地面積	4,995 m ²	確認者	-		
建築面積	1,458 m ²	現在までの主な改修履歴	なし		
延床面積	1,521 m ²				

1 CASBEE評価結果

■ 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

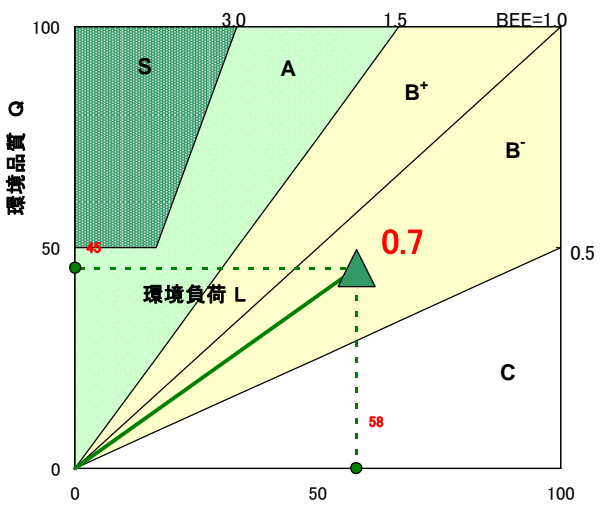


BEE = 0.7










■ BEE(環境効率) = $\frac{Q(\text{環境品質})}{L(\text{環境負荷})}$

■ CASBEE 評価基準

ランク	ランク表示	評価	判定値	
			BEE値	Q値
S	☆☆☆☆☆	素晴らしい	3.0以上	50以上
A	☆☆☆☆	大変良い	1.5以上3.0未満	-
B ⁺	☆☆☆	良い	1.0以上1.5未満	-
B ⁻	☆☆	やや劣る	0.5以上1.0未満	-
C	☆	劣る	0.5未満	-



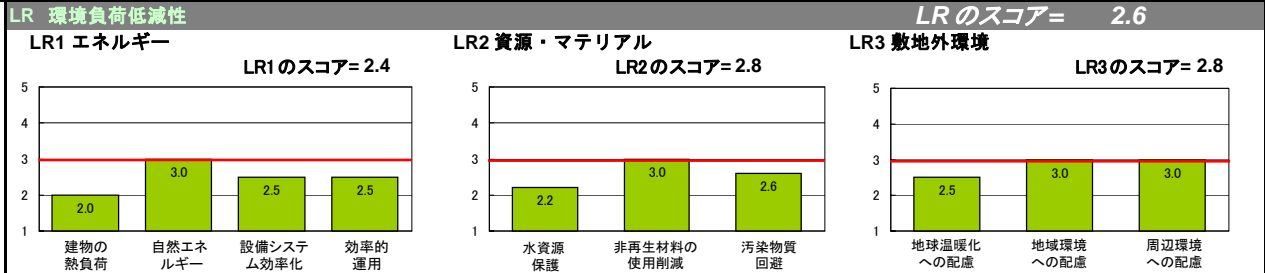
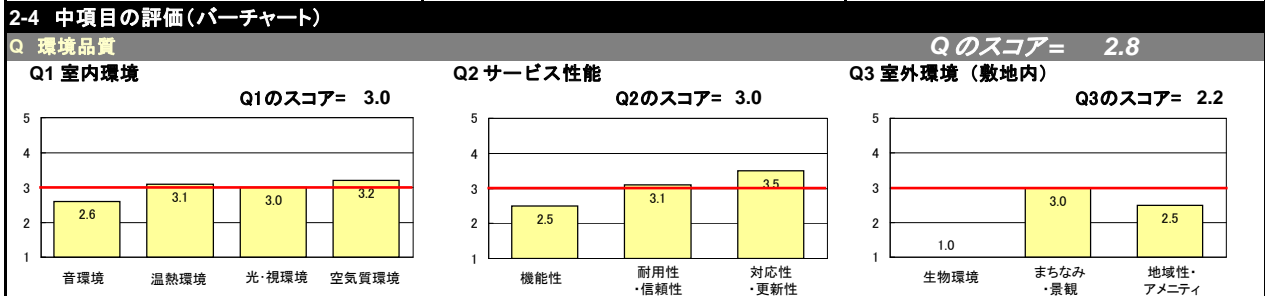
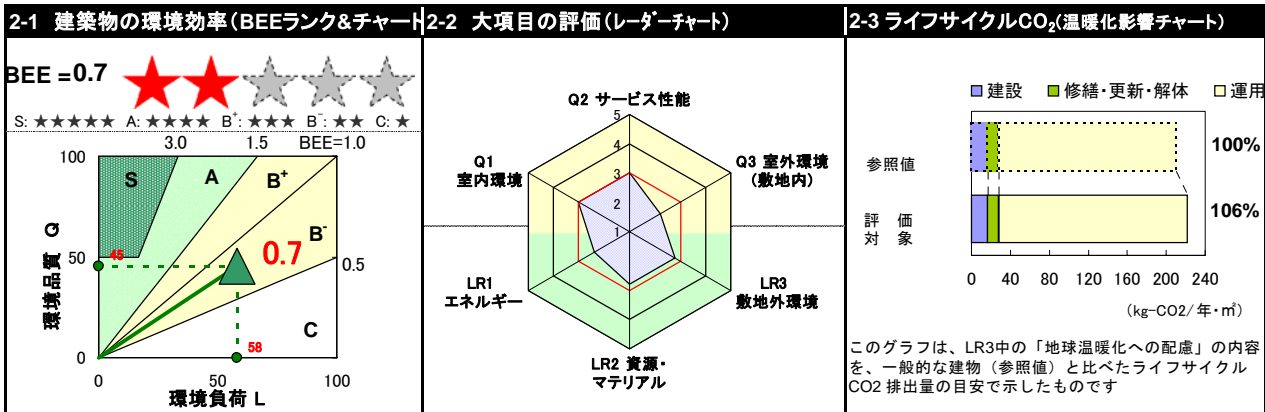
2 熊本県重点評価結果

■ 重点事項総合評価		評価点												
		61												
<p>【重点事項1】 温室効果ガス排出量削減の推進</p> <p>【重点事項2】 安全安心で暮らしやすい社会の実現</p> <p>【重点事項3】 県の地域資源の有効活用と保全</p> <p>【重点事項4】 循環型社会の実現</p>	<p style="text-align: center;">評価点</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">63.7</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">68.7</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">37.5</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">69</div>	<p>■熊本県重点評価基準</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>判定値(評価点)</th> <th>ランク表示</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>100点以上</td> <td></td> </tr> <tr> <td>80点以上100点未満</td> <td></td> </tr> <tr> <td>60点以上80点未満</td> <td></td> </tr> <tr> <td>40点以上60点未満</td> <td></td> </tr> <tr> <td>40点未満</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※評価点は、100点以上が推奨です。</p>	判定値(評価点)	ランク表示	100点以上		80点以上100点未満		60点以上80点未満		40点以上60点未満		40点未満	
判定値(評価点)	ランク表示													
100点以上														
80点以上100点未満														
60点以上80点未満														
40点以上60点未満														
40点未満														

CASBEE[®] 熊本 《改修》【評価結果】 (改修前)

■使用評価マニュアル: CASBEE-改修(簡易版)2009年版 ■使用評価ソフト: CASBEE-RNb_2009(v.1.3)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	フードプラザにしだ 海士江店	階数	地上2F
建設地	熊本県八代市	構造	S造
用途地域	区域区分未設定都市計画区域、防	平均居住人員	30人
気候区分	地域区分V	年間使用時間	4,344時間/年
建物用途	物販店	評価の実施日	2011年1月7日
新築時竣工年月	1999年10月	作成者	-
経過年数	11年	確認日	-
敷地面積	4,995㎡	確認者	-
建築面積	1,458㎡	現在までの主な改修履歴	なし
延床面積	1,521㎡		



3 熊本県重点評価結果

重点事項総合評価 **評価点 = 61**

重点事項1: 温室効果ガス排出量削減の推進 評価点 = 64	重点事項2: 安全安心で暮らしやすい社会の実現 評価点 = 69
重点事項3: 県の地域資源の有効活用と保全 評価点 = 38	重点事項4: 循環型社会の実現 評価点 = 69

重点事項の評価(温室効果ガス排出量削減の推進)

安全安心で暮らしやすい社会の実現

県の地域資源の有効活用と保全

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
 ■LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい

熊本県重点評価結果スコアシート 実施設計段階

建物名称 **フードプラザにしだ 海士江店**

■評価ソフト: CASBEE-RNb_2009(v.1.3)_kmt2010(v1.0)

■使用評価マニュアル: CASBEE-熊本《改修》2010年版

★熊本県重点評価結果				総合評価点		60.5
重点事項				評価点	重点事項 重み係数	評価配点
重点項目(配慮項目)	スコア	重み 係数				
① 温室効果ガス排出量削減の推進				63.7	0.40	25.48
Q1-2.1.3	外皮性能	3.0	0.05			
Q1-3.1.3	昼光利用設備	3.0	0.05			
Q1-3.2.2	昼光制御	0.0	0.05			
LR1-1	建物の熱負荷抑制	2.0	0.15			
LR1-2	自然エネルギー利用	3.0	0.20			
LR1-3	設備システムの高効率化	2.5	0.30			
LR2-2.1	材料使用量の削減	2.0	0.10			
LR3-2.3.3	交通負荷抑制	4.0	0.10			
② 安全安心で暮らしやすい社会の実現				68.7	0.20	13.74
Q2-1.1.3	バリアフリー計画	3.0	0.35			
Q2-2.1.1	耐震性	3.0	0.35			
Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.10			
Q3-3	地域性・アメニティへの配慮	2.5	0.10			
LR3-2.2	温熱環境悪化の改善	3.0	0.10			
③ 県の地域資源の有効活用と保全				37.5	0.20	7.50
Q3-2	まちなみ・景観への配慮	3.0	0.20			
LR2-1.1	節水	1.0	0.30			
LR2-1.2.1	雨水利用システム導入	3.0	0.20			
LR2-2.5	持続可能な森林から産出された木材	0.0	0.30			
④ 循環型社会の実現				69.0	0.20	13.80
Q2-2.2	部品・部材の耐用年数	2.7	0.30			
Q2-3	対応性・更新性	3.5	0.30			
LR2-2.2	既存建築躯体等の継続使用	3.0	0.10			
LR2-2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	3.0	0.15			
LR2-2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	1.0	0.15			

■評価点算出式

評価点は、以下の方法により算出しています。

◆総合評価結果

総合評価点 = (各重点事項の評価点 × 各重点事項の重み係数)の総和
 ※重み係数の総和は、「1」であること。

◆各重点事項(①~④の項目)

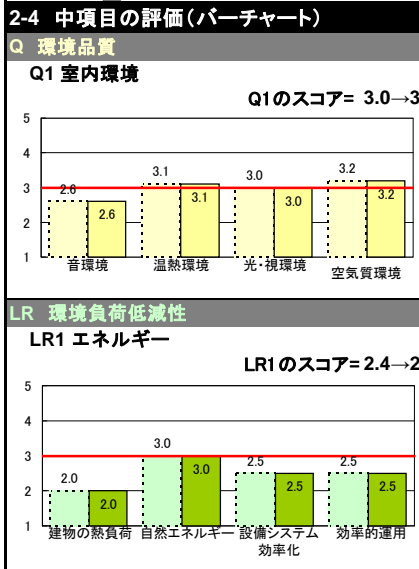
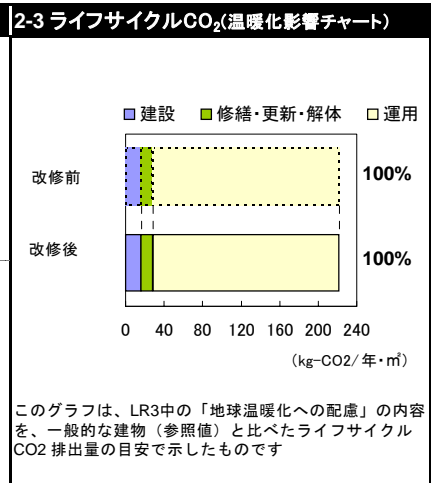
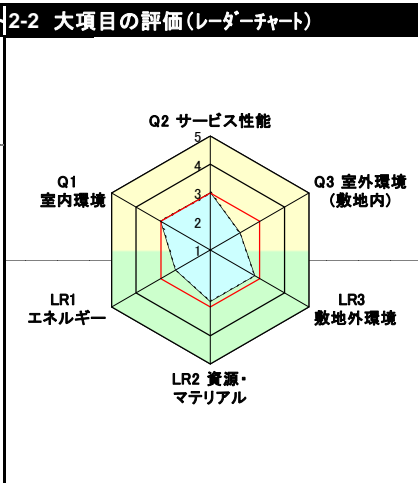
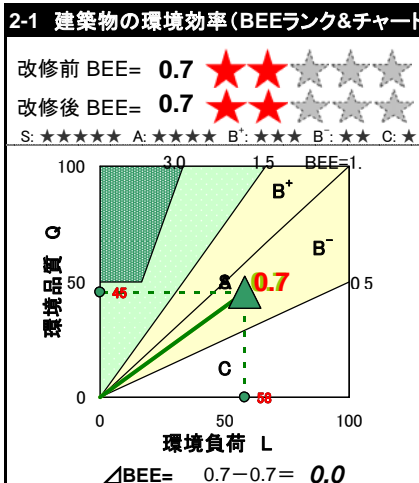
評価点 = (各重点項目のスコア × 各重点項目の重み係数)の総和 × (5/4) × 20
 ※重み係数の総和は、「1」であること。
 ※(5/4) × 20 : スコア4点を評価点100点に変換するスケー

CASBEE熊本《改修》【評価結果】

(改修前後の比較)

■使用評価マニュアル: CASBEE改修(簡易版)2009年版 使用評価ソフト: CASBEE-RNb_2009(v.1.3)

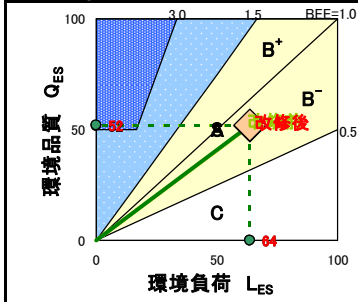
1-1 建物概要		改修前		改修後		改修の概要	
建物名称	フードプラザにしだ 海士江店	建物名称	フードプラザにしだ 海士江店	現在までの主な改修履歴	なし		
建物用途	物販店	建物用途	物販店	改修後の想定使用年数	10年		
新築時の竣工年	1999年10月	改修竣工年	2011年2月	改修目的	設備の省エネ仕様への転換による温室効果ガス排出の削減		
建築面積	1,458.05 m ²	建築面積	1,458.05 m ²	改修対象項目			
延床面積	1,521.27 m ²	延床面積	1,521.27 m ²	躯体	-		
階数	地上2F	階数	地上2F	外装	-		
構造	S造	構造	S造	内装	-		
平均居住人員	30人	平均居住人員	30人	設備	LED照明設備の導入		
年間使用時間	4344時間/年	年間使用時間	4344時間/年	改修工事期間	2011年2月1日~2011年2月27日		



3 設計上の配慮事項

総合	その他
注) 改修における総合的なコンセプトを簡潔に記載してください。 (省エネ改修、室内環境改善、外装の更新、高耐久化、情報化対応、コンバージョンなど) ■設備の省エネルギー仕様への転換による温室効果ガス排出の削減	注) 上記の6つのカテゴリー以外に、改修工事における廃棄物削減・リサイクル、改修による歴史的建造物の延命など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記
Q1 室内環境 注) 改修における「Q1 室内環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。	Q2 サービス性能 注) 改修における「Q2 サービス性能」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。
Q3 室外環境(敷地内) 注) 改修における「Q3 室外環境(敷地内)」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。	Q3 室外環境(敷地外) 注) 改修における「Q3 室外環境(敷地外)」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。
LR1 エネルギー 注) 改修における「LR1 エネルギー」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 ■設備の省エネルギー仕様への転換による温室効果ガス排出の削減。	LR2 資源・マテリアル 注) 改修における「LR2 資源・マテリアル」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。
LR3 敷地外環境 注) 改修における「LR3 敷地外環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。	

4 BEE_{ES} による省エネルギー改修評価



$$BEE_{ES} = \frac{\text{省エネ改修評価における建築物の環境品質 } Q_{ES}}{\text{省エネ改修評価における建築物の環境負荷 } L_{ES}}$$

$$= \frac{25 \times (SQ1 - 1)}{25 \times (5 - SLR1)}$$

$$\Delta BEE_{ES} = 0.0$$

$$\text{改修前 } BEE_{ES} = \frac{52}{64} = 0.8$$

$$\text{改修前 } BEE_{BS} = \frac{52}{64} = 0.8$$

- CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
- Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
- 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
- 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
- LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい